

## 地域の人々の交通安全への思いや願いを受け止め、自分たちの実践につなげる事例

## 交通

小学校 第4学年 社会科

授業づくりのポイント

- 地域における交通事故発生件数や東京都の交通事故による死傷者数に触れ、交通事故が自分にも起こりうる問題であることを理解させ、地域の交通環境への関心を高める。
- 自分の安全な生活が、いろいろな機関や人々、施設によって守られていることに気付けるよう、警察署の人や地域の人をゲストティーチャーとして招き、安全を守る人の思いや願いに直接触れることができるようとする。
- 話合いを通して、地域の交通事故の実態などの調査の目的や観点を明確にし、問題解決のための見通しをもたせる。
- 自分たちで地域交通安全マップを作成し、地域の安全に貢献しようとする態度を養う。

単元について

1 単元名 「安全なくらしとまちづくり」

## 2 目標

地域・社会で起こる交通の危険について理解し、安全に行動できるようにするとともに安全な交通社会を築くために、積極的に参加できるようにする。

## 3 教材化の視点

交通事故は大きな社会問題であり、子供たちにとっても生命の危険に関わる身近な問題である。しかし、子供たちの交通安全に対する意識は高いとは言えない。子供たちが交通事故を自分の問題として考えることや交通事故防止のために活動する人々の努力などについて、見学や調査などを通した体験的な学習が必要であると考えた。また、地域の人々の思いや願いに触れ、地域に貢献するための具体的な行動として、地域交通安全マップを作成し発信していくことが社会貢献意識を養うことになると考えた。

指導計画（10時間扱い）

| 時間 | 主な学習活動  | 安全教育の視点に立った留意点  |
|----|---|---|
| 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の安全や危険について考える。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な所や危険な所はどのような所か。<br/>(通学区域地図など)</li> </ul> </li> <li>○ 地域で発生した交通事故の実態を知る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・その中から交通について考えていくことを知る。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ道でも、場所や時間帯により安全の度合いが違ってくることに気付かせる。</li> <li>○ 地域の交通事故発生件数を示し、交通事故を自分の問題として捉えられるようにする。</li> </ul> |
| 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域見学(1)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の数や広さについて調べる。</li> <li>・交通量を調べる。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の交通事情について把握できるようにする。</li> <li>○ 危険な場所と考えたところについて具体的な視点をもって調べられるようにする。</li> </ul>                 |
| 3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気付いたことを話し合い、まとめる。</li> <li>○ もっと知りたいことを話し合う。</li> <li>○ 交通事故から自分を守っているものについて考える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通安全のための対策の例を提示し、次の見学のための視点を作る。</li> </ul>   |

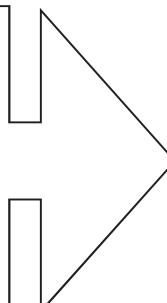
|  |   |   |
|--|---|---|
|  | ○地域見学(2)<br>・交通安全を守るために設置されている看板や標識、信号やガードレールなどの施設について調べる。<br>・安全な所や危険な所を調べる。<br>・交通量を調べる。  | ④ ○自分の安全という意識をもって調べられるように、グループに分かれ通学路を中心に、どのような危険が潜んでいるのかを調べさせる。                          |
|  | ○気付いたことを話し合い、まとめ、もっと知りたいことを話し合う。<br>○交通安全を守るために活動している人々について調べる。   | ⑤ ○安全な場所と危険な場所で色分けしたり、見出しを付けたりする。<br>⑥ ○見学やインタビューの活動から、体験的に学べるようにする。                      |
|  | ○警察に交通事故防止の取組や起こったときの緊急体制についてインタビューを行う。<br>○警察署の人アドバイスをもらいながら、地域交通安全マップを作る。(1)(模造紙・絵地図・写真・メモ)<br>・実際に登下校で起こった事故<br>・安全への取組<br>・危険なところ | ⑦ ○交通事故は他人事ではなく、自分にも起こり得ることを実感させる。<br>⑧ ○ゲストティーチャーに、児童からの質問に答えたりアドバイスをもらったりする。            |
|  | ○PTA会長の話を聞いて、地域交通安全マップを作る。(2)(模造紙・絵地図・写真・メモ)<br>・商店街の工夫(車の進入時間など)<br>・高齢者に優しいところ<br>・地域が大切にしているもの                                     | ⑨ ○安全を守る人の思いや願いに直接触れれるよう、警察以外をゲストティーチャーとして招く。<br>⑩ ○ゲストティーチャーに、児童からの質問に答えたりアドバイスをもらったりする。 |
|  | ○地域交通安全マップを完成させる。   | ⑪ ○前時までのゲストティーチャーの話を生かして完成させる。  |
|  | ○私たちの町の交通安全のためにどんなことができるか話し合い、まとめる。   | ⑫ ○これまでの学習を基に、交通安全のために伝えたいことをまとめる。  |
|  | ○まとめたことを学年や保護者に発表する。<br>・交通安全マップを使って、問題提起とアピールをする。  | ⑬ ○発表を通して、地域の安全に貢献しようとする態度を養う。<br>⑭ ○授業後、全校に発表する機会を設ける。                                   |

**指導事例（第9時／10時間）****1 ねらい**

自分たちの町の安全のためにできることを話し合い、地域の安全に貢献しようとする態度を養う。【II-4-④】

**2 ポイント**

- 交通事故を身近なものとして受け止める。
- 地域の交通安全のための活動や施設等について理解する。
- 地域の交通安全に対する人々の思いや願いを受け止める。
- 地域に貢献できることについて話し合う。



- 地域交通安全マップ作成までの学習を振り返り、地域に伝えたいことについて話し合う。
- 自分たちの行動について振り返り、交通安全のために取り組めることについて話し合う。

### 3 指導の実際

|     | ○主な学習活動   | ◎支援・留意点 ■評価（評価方法）   |
|-----|---|---|
| 導入  | <p>1 学習課題を捉える<br/>○本時のねらいを確認する。</p> <p>この町の交通安全のために、わたしたちが伝えたいことを話し合おう。</p>   | <p>◎前時までの学習を振り返り、地域の交通安全に対する人々の思いや願いについて想起できるようにする（写真やワークシート）。</p>  |
| 展開  | <p>2 自分の考えをもつ<br/>○完成した交通安全マップとこれまでの学習をもとに発信したい情報について考える。</p> <p>3 学び合う（対話）<br/>①グループで交流<br/>○自分の考えを発表し、グループとしての提案にまとめる。<br/><br/></p> <p>②全体で交流<br/>○グループの提案を発表する。</p> <p>○グループの提案を聞き、アドバイスや感想を言い合う。</p> | <p>◎「誰に」「どんな」ことを伝えたいのかを明確にするようする。<br/>・全校児童や保護者に気を付けてほしいこと<br/>・警察に作ってほしいもの<br/>・地域の人へお願いしたいこと</p> <p>◎グループ発表の仕方について確認する。<br/>・初めに発表する人を決める。<br/>・相互指名をする。<br/>・全員発表したら拍手で終わる。</p> <p>◎各自の考え方から、特に発信したほうがいいと思う情報を精選させるようする。</p> <p>◎各グループの発表に対し、自分の考えがしっかりとまとまるよう、ノートに書き込む。</p> |
| まとめ | <p>4 学びを振り返る<br/>○本時を振り返る。<br/>○交通安全について、自分たちの行動を振り返る。</p>  | <p>■自分たちの提案で地域の安全に貢献したいという気持ちをもてているか。</p>   |

### 4 児童の感想から

今まで地域に出たり、色々な方々に来ていただいたりして交通安全マップを作りました。ぼくはこれを地域の人たちに広め、誰もが安全だと思える町にしていきたいです。

交通事故を身近に考え、意識も深まったので、色々な人に伝え、自分もみんなも交通事故にあわないようにしたいと思いました。ちょっと場所が違うことで、事故の起き方が、違うことが分かりました。

### 児童の変容

警察やPTA会長にアドバイスをもらいながら、地域交通安全マップを作成することで、交通事故は他人事ではなく、自分にも起こり得ることや地域の事故防止への努力について実感することができた。

また、作成した地域交通安全マップから、自分たち自身も安全に気を付けるとともに、地域の方をはじめ、いろいろな人に、地域の交通安全について知り、命を大切にしてほしいと願うことができた。